

# セグメント別戦略

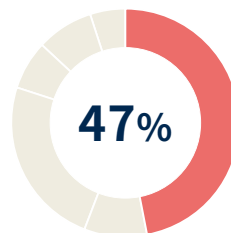
各セグメントの製品情報や財務データの詳細はファクトブックをご覧ください。

決算関連情報    ファクトブック

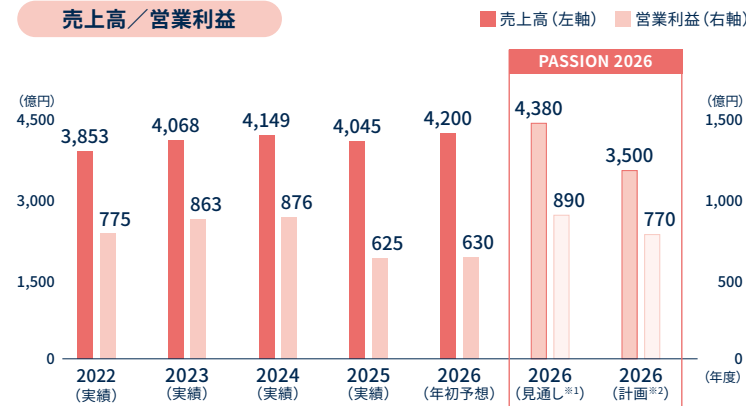
## ビニルアセテート

水溶性や接着性などの特性を持つポパール樹脂、液晶ディスプレイ用途のほか、洗剤などの個包装フィルムに使われるポパールフィルム、合わせガラス用中間膜として使用されるPVBフィルム、特殊アイオノマーシート<セントリグラス>、高いガスバリア性を持つEVOH樹脂<エパール>などを製造・販売しています。

売上高構成比率



売上高／営業利益



※1 2025年2月公表時    ※2 2022年2月公表時

### 競争優位性

- 原料モノマーから製品まで高い技術力に基づく一貫生産
- 高品質かつコスト競争力の高い多数の製品群
- グローバルネットワークを生かした安定供給体制と強固な顧客基盤
- お客さまへの価値提案力とマーケティング力
- アジア市場での成長加速のためのシンガポールテクニカルセンター開設

### 事業環境

#### 機会

- 環境意識の高まりに伴うバリア紙などの需要拡大
- 液晶ディスプレイの大型化やデジタル化の加速による需要増加
- 個包装洗剤の世界的な需要増加
- 建築分野における安全性・セキュリティとデザイン性・採光性の両立へのニーズ
- 新興国における生活水準向上に伴う食の安全・安心への関心の高まり
- 世界的なフードロス削減やリサイクル包材へのニーズの高まり

#### リスク

- 原燃料の価格高騰と為替の急激な変動
- カントリーリスクの高まり
- 各国政策の不確実性による世界経済への悪影響
- 競合他社の新規参入による競争激化
- 液晶ディスプレイ市場の成熟化、有機ELディスプレイの市場拡大

### 「PASSION 2026」の戦略と進捗

事業	戦略	これまでの進捗
ポパール樹脂	<ul style="list-style-type: none"> <li>-原料から自社で生産する強みを背景に、強固な供給体制を維持</li> <li>-量から質(新規用途、高付加価値品)への転換を継続</li> </ul>	高付加価値製品シフトをさらに推進するとともに、グローバルサプライチェーンの強化・最適化を進めました。
光学用ポパールフィルム	<ul style="list-style-type: none"> <li>-需要拡大および市場の中国シフトを的確に捉えた生産販売体制の強化</li> <li>-高透過、薄膜などの顧客ニーズに合った付加価値製品の投入、拡大</li> </ul>	液晶ディスプレイ大型化による広幅フィルムの需要増に対応するため、西条事業所での能力増強投資を決定しました。
水溶性ポパールフィルム	<ul style="list-style-type: none"> <li>-需要拡大に対応した適時の生産能力拡大により、市場への安定供給体制を強化</li> <li>-新規用途・生分解性、バイオベース原料への転換推進、循環型社会への貢献</li> </ul>	水溶性ポパールフィルムの世界No.1サプライヤーとして、今後の市場の拡大に合わせて安定供給可能な体制を整えています。2024年にポーランド新工場での生産を開始しサプライチェーンを強化しました。
高機能中間膜	<ul style="list-style-type: none"> <li>-独自の合わせガラス用中間膜製品である特殊アイオノマーシート&lt;セントリグラス&gt;の拡大</li> <li>-欧・米・韓各拠点からの供給体制の強みを生かすとともに、新規開発品の立ち上げを加速</li> </ul>	<セントリグラス>の旺盛な需要に応えるためにグローバルでのサプライチェーンの最適化を推進しました。自動車用高機能フィルムはアジアの新規顧客での採用が進み、販売が拡大しました。
エパール	<ul style="list-style-type: none"> <li>-安定供給体制の強化、アジアでの新プラント建設</li> <li>-食品包装用途の需要拡大に対応し、フードロス削減およびサーキュラーエコノミーに貢献</li> </ul>	食品包装用途での新規用途開発などにより販売が拡大しました。グローバル安定供給体制強化のため欧米でデボトル増強を実施するとともに、シンガポールでの新プラント建設を決定し、2026年末の完工を予定しています。

# セグメント別戦略

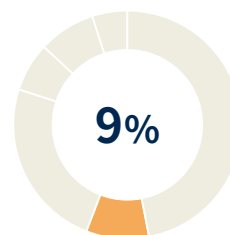
各セグメントの製品情報や財務データの詳細はファクトブックをご覧ください。

決算関連情報 ファクトブック

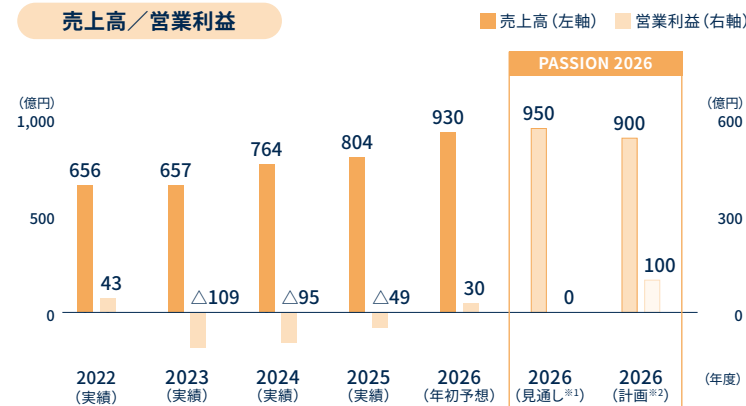
## イソプレン

合成法によるイソプレンケミカル製品群と、その派生品である熱可塑性エラストマー〈セプトン〉や耐熱性ポリアミド樹脂〈ジェネスタ〉を製造・販売しています。

売上高構成比率



売上高／営業利益



※1 2025年2月公表時 ※2 2022年2月公表時

### 競争優位性

- ・ 独自技術に基づく多数のユニーク製品群
- ・ 顧客ニーズに応える高い技術サービス
- ・ タイ新拠点を加えたグローバルネットワークによる安定供給体制
- ・ お客さまへの価値提案力とマーケティング力

### 事業環境

#### 機会

- ・ 自動車の軽量化、電子制御化、EV化に向けた素材開発ニーズ拡大
- ・ 次世代通信規格に対応したハイエンド素材ニーズの拡大
- ・ 環境意識の高まりに伴う環境低負荷素材、バイオ系素材の需要増加

#### リスク

- ・ 原燃料の価格高騰や調達難、為替の急激な変動
- ・ 半導体の供給不足による自動車および電気・電子製品の減産
- ・ 競合の低価格戦略などによる市場の侵食

### 「PASSION 2026」の戦略と進捗

事業	戦略	これまでの進捗
イソプレンケミカル	<ul style="list-style-type: none"> <li>- オンリーワン製品のさらなる拡販</li> <li>- 新規開発品の早期事業化と収益への貢献</li> <li>- サステナビリティへの対応推進 (原料転換・プロセス改良によるGHG排出削減)</li> </ul>	オンリーワン製品については、タイ拠点の稼働による生産能力増強を背景に、MPD (3-メチル-1,5-ペンタンジオール) およびアルコール系溶剤〈ソルフィット〉の拡販が着実に進展しました。
エラストマー	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 〈セプトン〉のグローバル供給体制の強化</li> <li>- 液状ゴムの米国でのプラント建設</li> <li>- サステナブル原料・高付加価値品の開発体制の推進と販売拡大</li> </ul>	競争環境の厳しさが増す中、付加価値品の拡大によってポートフォリオ改善を図るとともに、〈セプトン〉ではタイ生産品を含め拡販を進めています。また、2025年には鹿島事業所にてバイオマス原料や再生原料を用いた製品でISCC PLUS認証 (国際持続可能性カーボン認証) を取得し、環境貢献製品の拡大を推進しています。
ジェネスタ	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 自動車の軽量化・電子制御化・EV化による部品での採用拡大</li> <li>- 欧・米・アジアをはじめとするグローバル市場へのさらなる展開</li> <li>- タイプラント第2期増設の検討</li> </ul>	パソコン関連部品向けの販売が順調に推移しました。また、自動車用途では、従来の高耐熱性に加えて、軽量化や高電圧耐性といったニーズに伴う新規採用が進むとともに、開発案件がグローバルに拡大しています。

# セグメント別戦略

各セグメントの製品情報や財務データの詳細はファクトブックをご覧ください。

決算関連情報 ファクトブック

## 機能材料

高い吸着性能を生かし、水や大気の浄化に使用される活性炭および中空糸膜モジュール、天然歯に近い修復を可能にする歯科材料、透明性や耐久性に優れたメタクリル樹脂を製造・販売しています。

### 競争優位性

- 高い技術力と品質による付加価値の高い製品展開
- 活性炭の総合メーカーとしてのグローバルネットワークを生かした供給力と販売力
- お客さまへの価値提案力とマーケティング力

### 事業環境

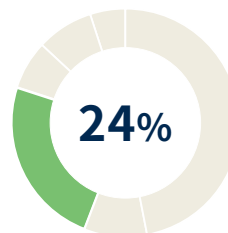
#### 機会

- 世界的な環境規制の強化による水、大気の浄化ニーズの高まり
- サーキュラーエコノミーの世界的な広がり
- エネルギー関連市場の拡大
- 生活水準の高まりに伴う審美歯科需要の拡大
- CAD/CAMを駆使した歯科技工のデジタル化
- 自動車の高度化に伴う透明性、光学特性を生かした素材開発ニーズの高まり

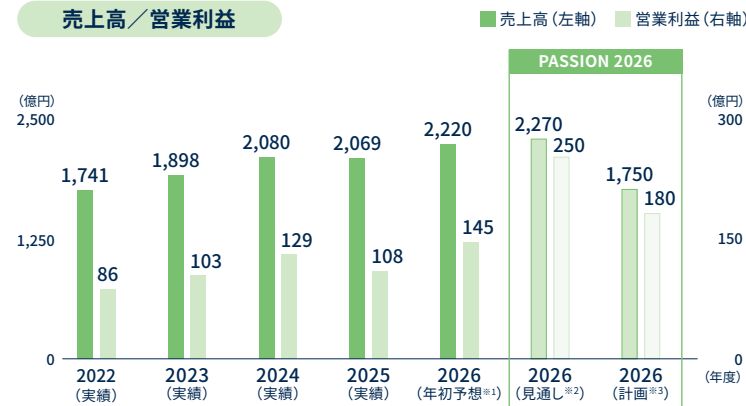
#### リスク

- 活性炭製造プロセスにおけるGHG排出
- 原材料調達難によるコスト競争力と供給能力の低下
- 原燃料の価格高騰と為替の急激な変動

### 売上高構成比率



### 売上高／営業利益



※1 2026年度からエレクトロニクスマテリアルズ推進本部に属する各事業のセグメント区分を「その他」から「機能材料」に変更しています。2026年度(年初予想)は当該変更を反映した数値です。  
 ※2 2025年2月公表時  
 ※3 2022年2月公表時

### 「PASSION 2026」の戦略と進捗

事業	戦略	これまでの進捗
環境ソリューション	- 総合活性炭メーカーの強みを生かし収益拡大 - 新炭および再生炭の能力増強による事業拡大とシナジー発現の本格化 - 電材・モビリティ向け、GHG排出削減関連の開発	PFAS (有機フッ素化合物) 対応などの事業機会を捉え、製品・サービスの提供能力を強化しています。2022年にベルギーで再生炭設備を増設し、2024年には米国で新炭設備の増設と産業用再生炭事業の買収を実施しました。また2025年から2026年にかけては米国で工場用地を確保したほか、飲料水用再生炭設備の増設を決定しました。日米共同の電材・モビリティ向け開発やGHG削減に向けたバイオ由来原料の採用検討など、高付加価値化と環境対応も推進しています。
メディカル (歯科材料)	- 高付加価値・差別化製品の継続投入 - グローバルな事業拡大に向けた製品供給体制の強化	高付加価値・差別化製品の投入として、治療時間の短縮を実現する「超短時間焼成ジルコニアブロック」の販売を開始しました。また、2026年下期の稼働に向けて、無機系歯科材料を生産する三好工場 の能力増強工事を進めているほか、グローバルでの事業拡大を見据えた組織体制の強化やシステムの開発・導入を推進しています。
メタクリル	- 次世代を見据えた高付加価値材料・技術の開発と具現化 - リサイクルシステム確立、生産プロセス革新	放射線遮蔽板の増産体制を確立したほか、耐熱アクリル樹脂の実証プラントを稼働開始しました。併せて新潟事業所のMMA生産能力の最適化や、中国メタクリル樹脂シート生産子会社およびスタンプ事業の譲渡を決定し、高付加価値分野へ経営資源を集中しました。成形材料のISCC PLUS認証取得など環境対応も推進しています。
アクア	- 独自技術を生かした膜事業強化 - 環境ソリューション事業とのシナジーによる環境関連ビジネスの推進	半導体製造における水処理分野で、高性能膜モジュール(ビューリア) GLの採用が広がりました。環境ソリューション事業部が有する人材・ネットワークを活用し、顧客開拓活動などを推進中です。

# セグメント別戦略

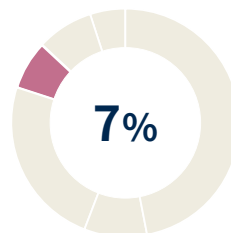
各セグメントの製品情報や財務データの詳細はファクトブックをご覧ください。

決算関連情報    ファクトブック

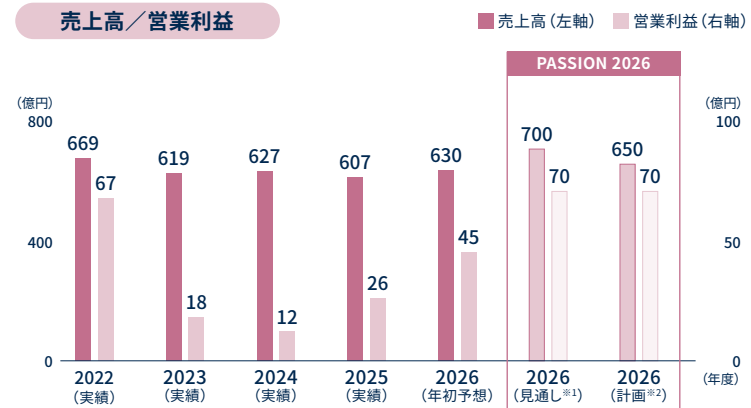
## 繊維

セメント建材や自動車関連部品の補強材などに使用されるピニロン、天然皮革に近い構造と機能性を兼ね備えた人工皮革(クラリーノ)、高強度・低吸水性などの特長を持つ液晶ポリマー繊維(ベクトラン)、生活・工業用品向けメルトブローン不織布、面ファスナー(マジックテープ)などを製造・販売しています。

### 売上高構成比率



### 売上高/営業利益



※1 2025年2月公表時    ※2 2022年2月公表時

### 競争優位性

- 多様な樹脂を多様な独自紡糸技術で繊維化
- サステナブル製品の開発と積極的な展開
- 顧客用途の評価技術も含めた価値提案力とマーケティング力

### 事業環境




#### 機会

- アスベスト規制など社会的な対策強化
- 環境意識の高まりに伴う環境低負荷素材・製法のニーズ拡大
- 各種産業用製品の高性能化に伴うハイエンド素材のニーズ拡大

#### リスク

- 新興国品や他素材との競合
- 原燃料の価格高騰や調達難、為替の急激な変動
- 輸出ビジネスにおける海外物流の混乱

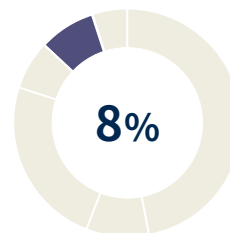
### 「PASSION 2026」の戦略と進捗

事業	戦略	これまでの進捗
 クラリーノ	- リサイクル原料やバイオ原料を使用したサステナブル製品の拡大、環境対応型の製造・加工プロセスへのシフト - サプライチェーンのグローバル化に対応した供給体制の拡充	主力のスポーツシューズやラグジュアリー製品をはじめとしたさまざまな用途で、製造工程で有機溶剤を使用しない環境対応型製造プロセスによる製品や、リサイクル原料を使用した製品の採用が進んでいます。2025年には使用済みの漁網や養殖ロープからリサイクルしたナイロンを用いたランドセル向け新銘柄(アクアデュオ)を上市しました。
 繊維資材	- 素材の特長を生かした(ベクトラン)の拡大 - ピニロンのゴム補強やコンクリート補強用途などへの資源集中、およびアスベスト代替などの環境規制対応による拡大	(ベクトラン)は高強度・低吸水性などの特長を生かし、産業資材用途で順調に採用が増えています。ピニロンの既存用途は需要低迷の影響を受けましたが、セメント建材の環境負荷低減に寄与する製品など、高付加価値品の拡販に努めています。
 ファスニング	- 環境対応型製品やサステナブル素材の拡大 - 顧客の製造工程における省力化ニーズに対応した(マジックテープ)など、独自製品の拡大	再生ポリエステル系を使用した業界唯一のリサイクル可能な環境対応型(マジックテープ)や、クラレグループの特殊樹脂を使用し柔軟性と係合耐久性に優れた結束バンド用面ファスナーなどを発売し、拡販を進めています。

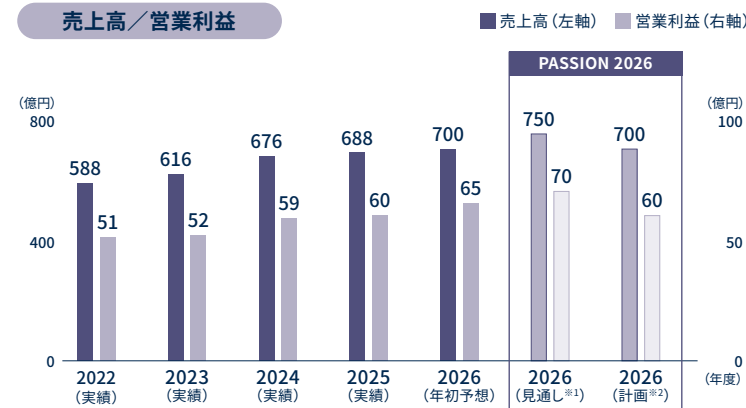
## トレーディング

ポリエステルをはじめとする繊維製品の製造・販売のほか、クラレグループ製品の国内・アジア地域での販売を行っています。

売上高構成比率



売上高／営業利益



※1 2025年2月公表時 ※2 2022年2月公表時

### 競争優位性

- ・クラレの特殊原系を使用し、縫製品までの一貫したサプライチェーンを構築
- ・アジアの拠点では、技術サービス、生産フォロー、販売活動を実施し、事業拡大に貢献

### 事業環境



#### 機会

- ・健康志向によるスポーツ、アウトドア製品市場の拡大
- ・主力市場であるアジア圏の経済成長や経済連携

#### リスク

- ・原材料価格の高騰と為替の急激な変動
- ・地政学的リスクの顕在化や、サプライチェーンの混乱

### 「PASSION 2026」の戦略と進捗

事業	戦略	これまでの進捗
繊維関連 	<b>独自製品・加工ビジネス拡大</b> - ポリエステル長繊維(クラベラ)の原系、生地販売から、製品販売へのシフト - 付加価値加工製品の拡大	衣料分野では、国内および中国でのスポーツアパレル・アウトドア向けに生地・縫製品販売が順調に拡大しており、ベトナムの協力工場の縫製設備とプリント設備の能力増強を2025年も段階的に進めました。資材分野では、メディカル用途の海外向け販売に注力しており、法規対応やベトナムでの現地生産の体制整備を進めました。 また、優れた速乾性とドライ感を有する新規繊維(エプシロン)の拡販が進みました。そのほか、従来の分割繊維(ランブ)にリサイクル原料を使用した(ランブ)環境対応グレードは、環境対応を重視する顧客からの関心が高く、本格採用に向けた評価が進んでいます。
化学品・化成品関連 	<b>海外ビジネス拡大</b> - 成長するアジア市場に特化した海外展開 - ベトナム生産拠点を活用した繊維製品の一貫生産体制の構築	海外拠点の機能活用による日本への輸入販売や海外間取引に力を入れており、販売数量の増加が本格化しました。また、付加価値加工製品の軟質成形材料(クライン)は、岡山富吉工場の新規生産設備が計画どおり2025年6月に稼働を開始し、日本、中国向けに順調に販売を拡大しました。

軟質成形材料(クライン)